

IFEフォーラム特別講演会

レーザー技術総合研究所は、レーザー核融合エネルギー開発を支援するIFEフォーラム/レーザー核融合技術振興会を運営しております。この度、IFEフォーラム特別講演会を企画いたしましたので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時：令和2年3月3日（火）13:30～
場 所：メルパルクOSAKA カナーレ（5F）
大阪市淀川区宮原4-2-1 TEL：06-6350-2111
アクセス：<https://www.mielparque.jp/osaka/access/>
主 催：IFEフォーラム

【プログラム】

◆第一講演13：30～14：20

「原子力施設の廃止措置とレーザー技術の応用」

日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉ふげん 副所長 井口 幸弘 氏

【概要】近年、多数の原子力発電所が廃止措置（デコミッショニング）に至っており、この中で安全かつ経済的な解体手法が求められている。原子力機構の新型転換炉原型炉ふげんでは、2008年より解体作業を進めているが、国内外及び「ふげん」の廃止措置状況及びレーザーによる原子炉本体の解体技術等についてご紹介する

◆第二講演14：20～15：10

「半導体レーザ製造技術の現状と将来展望」

浜松ホトニクス株式会社 化合物材料センター 取締役 新垣 実 氏

【概要】最近では、半導体レーザの性能向上や低価格化により、半導体レーザが産業用光源として大量に使われるようになってきた。このような産業用途の半導体レーザでは、従来の高出力化といった性能向上だけでなく、市場価格に見合う低コスト化、顧客の要求に迅速に対応するため短納期化、などの新たな半導体レーザ製造技術が要求される。このため浜松ホトニクスでは、従来手作業で行っていた半導体レーザの製造工程を、できる限り機械化・自動化し、高品質、低コスト、短納期の半導体レーザ製造技術を確立することを目指した化合物半導体生産拠点を設立した。本講演では、新たに設立した化合物材料センターにおける上記の取組みについて紹介する。

【申込方法等】

- ・定 員：70名（定員になり次第締切らせて頂きます）
- ・参加費：無料
- ・お申込：下記Websiteから申込みください（受付確認メールが自動送信されます）
<http://www.ilt.or.jp/forum/ife-form.html>

<お問合せ先>



公益財団法人レーザー技術総合研究所
IFEフォーラム事務局
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
TEL:06-6443-6311 FAX:06-6443-6313